

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年3月22日

事業所名 子ども発達プラザ ホエール（放課後等デイサービス）

保護者数（児童数）5 回収数 2 割合 40%

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた 対応
			はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない		
環境 ・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	0		・作業療法士と連携して療育にあたっています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	0	0	0		・初めての会と終わりの会の部屋、感覚統合室、リラクゼーションの部屋をそれぞれ用意しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	0	0	0	・リラクゼーションの部屋がわからなくなることがあるそうです	・部屋の入り口には活動内容に沿った表示しています。 ・感覚統合室には、ボルトリング等立体遊具を配置しています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	0	0	0		・お子さんの特性とニーズや成長過程に応じて変化させています。

	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	1	1		・併設する児童発達支援を利用するお子さんとの交流を実施しています。
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	0	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	0	2	0		・来年度、保護者向け学習会の実施を予定しています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		・送り迎えの際に保護者からのお話を伺い、また、療育の様子を伝えていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	0	0	0		・必要に応じて、個別の面談を設けています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されるか	2	0	0	0		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	0	0	0		いつでも相談して欲しいことをお伝えしています。必要に応じて通院に同行し、医療機関へニーズが正しく伝わるよう対応しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	0	0	0		・開設してすぐのため今回の自己評価が初めての評価となります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2	0	0	0		

非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	0	0	0	2		・マニュアルはあるが今年度は周知が及びませんでした。来年度に周知することを予定しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の訓練が行われているか	0	0	0	2		・来年度、訓練を実施する予定です。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	0		
	23	事業所の支援に満足しているか	2	0	0	0		

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年2月18日

事業所名 子ども発達プラザ ホエール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練スペースの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・職員の急な休みなどに備えて 人員拡充を進めていく
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		・子供のスペースと職員 のスペースを色分けし、 わかりやすくしている	・プレイルームと園庭に段差が ある。バギーを利用するお子 さんへの配慮について来年度検討 を進める
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			・プレイルームへの掃除機がけ は毎日行っているが、裸足で過 ごすお子さんのため政争の更な る充実を検討していく
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が関与しているか	○			・PDCA サイクルへの非常勤職員 の関与を推進していく
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・開設直後の為本評価が初めて のものとなっている
	7	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援に質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・開設直後のため本評価が初め てのものとなっている
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・今年度は自己評価にて対応し ている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・コロナ禍で外部研修の 受講が難しくなったため 内部研修を充実させた	・コロナ終息後、外部研修へ職 員を派遣する
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・日頃より保護者よりニ ーズを開き出すよう努め ている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・ミーティングで意見を出し合って決めている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・お子さんの状態に合わせて変更のペースを調整している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日、朝会にて確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		・毎日は難しいが、可能な限り振り返りを行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・検証、改善について更なる強化を目指していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
a	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		・相談事業所が開設間もないため担当者会議が開催できていない。来年度は取り組んでいく
関係	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
機	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	対象外			
や	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	対象外		・発作時のケアが必要なお子さんについては、医療機関と情報を共有している	
保護	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
者	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
との	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関		○		・コロナ禍終息後、対応していく
連						
携						

		と連携し、助言や研修を受けているか					
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・コロナ禍終息後、対応している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		・コロナ禍終息後、対応している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・保護者勉強会を開催している	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・コロナ禍に対応し、分散開催をしている	・コロナ禍が終息したらより充実させていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			・コロナ禍終息後、対応している
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		・マニュアルは配布しているが、訓練ができていない	・来年度は訓練を実施する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			

応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者との確認にて対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	・事故ヒヤリハット再発防止策の策定と効果の検証を行っている	・来年度は左記取り組みの共有化を進める
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止チェックリスト記入、集計、配布、検討を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・説明している。現在、対象者はいない	